

# 彩高

さいこう

中部小学校 第6学年 学年通信  
令和6年7月18日 第5号



## 充実した小学校生活最後の夏休みを！！

早いもので6年生になって4か月。夏休みという節目を迎えます。4月から学習、行事等に、一生懸命取り組んできました。登下校では1年生や下学年に優しく接する姿、委員会では率先して活動する姿、通学班では安全のために声をかける姿など、中部小の顔として活躍する姿がたくさん見られました。

いよいよ小学校生活最後の夏休みが始まります。約40日という長い休みだからこそできることがたくさんあると思います。この機会にしかできないことにぜひ挑戦してください。

### 9月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
2 夏休み明け全校集会 4時間授業 <b>13:50-斉</b>	3 ②避難訓練 16:00	4 ①・6年親子紙芝居 ②修学旅行説明会 16:00	5 15:45	6 16:00	7	8
9 委員会 15:45	10 16:00	11 16:00	12 5時間授業 ②授業参観 ③学校保健委員会 <b>14:50-斉</b>	13 16:00	14	15
16 秋分の日 16:00	17 16:00	18 16:00	19 15:45	20 16:00	21	22 秋分の日
23 修学旅行日 16:00	24 16:00	25 修学旅行 1日目	26 修学旅行 2日目	27 6年生は 10:30登校 16:00	28	29
30 5時間授業 第3回漢字・計算コンクール <b>14:50-斉</b>	<b>修学旅行</b>					

#### ★第3回 漢字・計算コンクールについて 9月27日(金)

漢字コンクール : 漢字ドリル上 35 ~ 51  
計算コンクール : 計算ドリル上 27 ~ 41

#### ★8月19日(月)出校日について

いつも通りの時間に通学班で登校します。一斉下校 10:30

- <持ち物> 夏休み日誌 読書感想文か作文 詩 作品募集(自由応募)  
愛であ朝ごはんコンテスト 筆記用具 連絡帳・連絡袋  
シューズ(置いて帰る) 水筒



# ★9月2日(月)について

4時間授業（給食あり）です。一斉下校 13:50

**<日 程>** ①夏休み明け全校集会 ②学活 ③国語 ④算数

**<持ち物>** □夏休みの宿題（提出できなかったもの） □図書の本 □道具箱 □赤白帽子  
□体育館シューズ □給食セット □筆記用具 □連絡帳・連絡袋 □水筒

下記の持ち物は、授業のある日までに持って来てください。

【書写：□習字道具】 【音楽：□リコーダー】 【図工：□絵の具セット】

チェック		出校日8月19日に提出するもの
① 夏休み日誌		・やり残しがないか点検し、最後のページも忘れずに書きましょう。 ・分からないところは教科書などで調べて進めましょう。 ・答え合わせをして、間違えたところはやり直しをしましょう。
② 読書感想文 または作文		・読書感想文(原稿用紙3枚、1200字以内) ・生活作文か説明文(原稿用紙4～6枚、1600字以上2400字以内) ・どちらかを選んで書きましょう。両方書いてもよいです。
③ 詩		・日ごろの生活の中で見つけたこと、心が動いたことなどを詩にしてみましょう。 (原稿用紙1～2枚)
④ 家庭科		・「あいちの味覚たっぷり! わが家の愛であ朝ごはんコンテスト」
⑤ 算数の友		・48ページまでやりましょう。答え合わせをして、間違えたところは直しをしましょう。
取り組むとよいもの		
⑥ 自由応募作品		・作品募集のプリントを読んで、チャレンジしてみましょう。 ・参加賞がもらえるものもあります。
⑦ 手伝い		・家族の一員として、自分のできるお手伝いをしましょう。
⑧ 道具箱などの点検		・道具箱、絵具セット、習字道具の整理・点検をしましょう。のり、名前ペン、絵具、ぼく液など、足りないものはほじゅうしておきましょう。習字や絵具の筆、パレットなども点検し、ていねいに洗っておきましょう。名前が見にくくなっているものは書き直しましょう。
9月2日に提出するもの		
⑨ 漢字ノート・計算ノート(算数ノート)		・漢字ドリル、計算ドリル、コンクールなどを使って、7月までに習ったことを復習しましょう。 ・第3回漢字・計算コンクールに向けた学習を進めましょう。

## ★「あいちの味覚たっぷり! わが家の愛であ朝ごはんコンテスト」募集について

家庭科の授業の中で、地元の食材や郷土料理を取り入れながら、家族でおいしく食べる「愛であ朝ごはん」の献立を考えました。そこで、上記のコンテストに応募したいと思います。応募用紙には、「家族で話し合ったこと」「保護者からのメッセージ」欄があります。



つきましては、夏休み中にご家庭でも親子で望ましい食生活について一緒に話し合ったり、家族の絆を深め合ったりしながら、児童が考えた献立を調理、再考していただけますと幸いです。